



らみまる通信

JAPAN COAST GUARD

海上保安庁
第十管区海上保安本部
マリトレジャー安全推進室

NO. 4号

平成17年8月19日

マナーを守って、かっこよく！

残暑厳しい折ですが、マリトレジャー愛好家の方々には、まだまだ夏の名残りを楽しんでおられることでしょう。暑い、暑い夏ですが、去ってしまうと何だか寂しいものです。

今回は遊泳者がめっきりと減った海を思いっきり疾走していると思われる水上バイクについて記載します。

【事前準備】

航走前に、**最新の気象・海象情報を把握**しましょう！

航走予定海域の地形・潮流・水深等の自然条件、ボートの性能、航行区域などを考慮した**無理のない航走計画**を立てましょう！

家族や所属マリーナなどに、**行き先や航海計画等の情報を伝えてから出発**しましょう！

エンジンや燃料の確認など、**出航前点検を確実に実施**しましょう！

海技免状、船舶検査証書、船舶検査手帳等の**法定書類及び信号紅炎などの法定備品**を積み込んだか確認しましょう！（これらは航海の安全確保に必要なものです）

安全のために**必要な保護具等を着用**しましょう！

工事や作業が行われている**制限区域には入らないよう**に注意しましょう！

(最寄の海上保安部のHPで確認できます)

【航走中】

海上衝突予防法・海上交通安全法・港則法などの**海上交通ルールを守りましょう！**

他の船舶、遊泳者やボードセーリング等の動きに注意し、**見張りを励行**するとともに、行動不明船に対しては、早めに避けるように心がけましょう！

万一に備えて、携帯電話などの連絡体制を確保しておきましょう！

残燃料の確認と機関の作動具合等に注意し、**帰還困難な事態に陥らないよう**に！

(水上バイクの海難原因の上位は、機関故障と衝突です)

【航走后】

船体各部の洗浄等、航走後のチェックを行い、次回の航走に備えましょう！

航行前に連絡した場所に入港の報告を！

帰宅時、牽引中の交通安全にも十分注意しましょう！

法令による禁止事項等は次ページ



【法令で禁止されている事項等】

- ・ **酒や薬の影響**により、正常な判断ができない状態での操縦
- ・ 有効な**海技免状を持っていない方の操縦**
- ・ 遊泳者やダイバーの近くで航走するなど、**危険な操縦**
- ・ 乗船時は、**ライフジャケットを常時、正しく着用すること(着用義務)**
- ・ **油やごみを海に捨てること**



周りの人と環境に思いやりが持てる人は、スマートでかっこいいですね。
海の男の seamanship とも相通じるものではないでしょうか。

私の町、私の母港



今回は大隅半島垂水付近の海岸線の模様です。

今年春にオープンした足湯で賑わう道の駅が見えます。長旅にはとてもありがたいオアシスです。

2005.7 りりかけず1号 撮影

本コーナーは、鹿児島航空基地等の航空機がパトロール中に撮影した航空写真を毎回紹介するコーナーです。

着て、来て、安心！



ライジャケが、あなた自身と家族の命を守ります。

最近の海浜事故について

今年も、暑い夏となりましたが、残念なことに事故は絶えませんでした。素潜り中の事故や、以下の例にみるような遊具が関係した死亡事故が特徴的であったので、同様の事故が再発しないことを願って概要をお知らせします。

・ビーチマットで流された孫を助けに行った祖父が溺死

先月末、鹿児島県で発生した事故です。ビーチマットにつかまって遊んでいた孫が沖合に流され、気付いた祖父が、泳いで助けに行く途中に溺れてしまいました。風の強い日でした。

- * ビーチマットは、水面上に浮いているため、風の影響で予想以上に早く流されます。
- * 波により簡単に転覆し、なかなか這い上がられません。

・抱いていたビーチボールが、腕からすり抜けて女性が溺死

今月初め、熊本県の海水浴場で発生した事故です。同僚3名で泳ぎ始め、泳ぎの得意でなかった女性はビーチボールを抱いて泳いでいる途中、ボールがすり抜けて溺れてしまいました。同僚の女性が、助けようとしたのですが抱きつかれて一緒に溺れそうになり、結果、沈んでしまったものです。

- * ビーチボールは、滑りやすく、一度放すと再度抱きかかえることは難しいものです。
- * つかまって浮いていると深い場所まで流されても気付かず、戻るのは容易ではありません。
- * 溺れている人は必至ですから、よほどでない限り泳いで救助するのは困難です。

スクリューによる負傷事故連続発生！

最近、「船のスクリューで負傷」する事故が連続発生しています。

船のスクリューは水中で高速回転しており、水面上からは見えにくく、不意に近づくると巻き込まれるおそれがあるので非常に危険です。操船者及びレジャーを楽しむ者ともに、十分な注意が必要です。

事例1 鹿児島県で、ダイビング中の女性がダイビングを終了し、船に上がろうとした際、風で船体が流され、スクリューに巻き込まれた。

「左頭部裂傷及び左わき腹上部打撲」

事例2 熊本県で、ウェイクボードを楽しんでいた女性が、ボートに揚収してもらう際に、ボートが、突然後進してきたためスクリューに巻き込まれた。「右大腿部後面に切創」



- ・ 遊泳中など、船尾には決して近づかない
- ・ 操船者は、船の周囲に細心の注意を

海の「もしも」は118番

